

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：身体障害者更生相談所費

事業名 医学的判定及び巡回相談事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 身体障害者更生相談所 電話番号：058-231-9722

E-mail：c22201@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,600 千円 (前年度予算額： 1,600 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,600	0	0	0	0	0	0	0	1,600
要求額	1,600	0	0	0	0	0	0	0	1,600
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・医学的判定事業（病院内判定）
身体的条件等の事情によって、来所又は巡回による医学的判定が受けられない身体障がい者に対し、委託病院において補装具交付のための医学的判定を行う。
- ・巡回相談事業（病院巡回相談業務委託分）
飛騨地区に居住する身体障害者に対して、委託病院を通じて、巡回相談を実施し、医学的判定を行い、補装具支給の迅速化を図る

(2) 事業内容

- ・県内の主要病院と委託契約を締結する。
委託病院：県立多治見病院（整形外科・耳鼻科）
県立下呂温泉病院（整形外科）
高山赤十字病院（整形外科・耳鼻科）
天野眼科医院（眼科）

医学的判定事業 1,360千円

{13,700円/1日(事務費)+2,880円/1件(初診料)+1,650円/1件(文書料)+740円/1回×3回(補装具採型等)}
/一人=20,450円。20,450円×99件=2,024,550円 →過去の執行実績を勘案し1,360千円(前年度同額)

医学的判定事業(実績)

委託先	年度	H30	R元	R2	R3	R4	過去5か年 平均	R5(4-7月 実績)	R5(見込) ※	備考
	県立多治見病院		79	62	51	55	43	58	25	
県立下呂温泉病院		4	10	8	3	11	7	0	4	
高山赤十字病院		23	17	27	57	36	32	8	28	
天野眼科		0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		106	89	86	115	90	97	33	99	

*R5(見込)の算出方法:[R5実績の月平均×12か月+過去5か年平均して平均を算出](小数点切上)
例) 県立多治見病院 (64件+(15件÷4月×12月))÷2≒55件

巡回相談事業(飛騨地区) 240千円

巡回相談事業(実績)

年度	H30		R元		R2		R3		R4	
取扱実人員	29	名	29	名	23	名	30	名	16	名
判定件数	25	名	27	名	23	名	30	名	16	名
相談件数	4	名	2	名	0	名	0	名	0	名

(3) 県負担・補助率の考え方

・県 10/10

(4) 類似事業の有無

・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,600	医学的判定業務委託料、巡回相談業務委託料
合計	1,600	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

（「清流の国ぎふ」創生総合戦略の位置づけ）

1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

(2) 誰もが活躍できる社会

② 障がいのある人もない人も共に活躍できる社会の確立

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

身体障がい者の福祉向上のために継続して実施すべき事業であり、指標は設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	医学的判定事業 県立多治見病院 51件 県立下呂温泉病院 8件 高山赤十字病院 27件 巡回相談事業 高山市 3回 飛騨市 1回 取扱人数 23人 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	医学的判定事業 県立多治見病院 55件 県立下呂温泉病院 3件 高山赤十字病院 57件 巡回相談事業 高山市 3回 取扱人数 30人 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	医学的判定事業 県立多治見病院 43件 県立下呂温泉病院 11件 高山赤十字病院 36件 巡回相談事業 高山市 2回 取扱人数 16人 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	当所（岐阜市）への来所が困難な障がい者のための事業であり、必要性は高い。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	身体障がい者が適切なサービスを受けることができおり、事業の有効性は高い。
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	巡回相談については、飛驒地区での開催を飛驒地区の病院へ委託することにより効率化を図っている。

(今後の課題)

医学的判定の依頼や巡回相談の実施希望が増えた場合にも対応できるよう、十分な体制を整えることが必要。

(次年度の方向性)

市町村及び関係機関と十分協議のうえ、身体障がい者のニーズを踏まえた充実した事業となるよう取り組む。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	